

2019 世界一大きな授業

【世界一大きな授業の画像】

2019世界一大きな授業に参加し、様々なアクティビティを通して教育格差の問題を学びました。

【世界一大きな授業とは？ HP にリンク】





生徒の感想より

政策提言

世界の諸問題に関する国民の認知度がまだまだ低いと思います。
国民全体の SDGs の認知度を高める取り組みをどんどん行ってほしいです。
世界の問題についてできるだけ多くの目に触れるように情報を流してほしいです。
発展途上国の初等・中等教育を充実させるために教員を現地に派遣したり、現地にいる教員が研修を受けるために税金を使ってください。
GPE 基金をさらに増加させて、さらに教育分野への割合を増やしてほしい
NGO などの民間組織に資金援助をして発展途上国の学校をさらに増やしてほしいです。
退職をした教師を海外で教師として働けるようにしてはどうでしょうか。
もっと海外の人を受け入れて、過疎地域で農業を学べるようにしてはどうでしょうか。
募金活動を活性化できるように、もっといろいろな場所に募金箱を設置するとよいと思います。
小中学校の授業の中で、世界の諸問題について学べる授業がたくさんあるといいと思います。
学校に行けずに働いている同世代の子がいると知れば、自分たちの生活が恵まれていることに気づき、また、世界の問題にも注目するきっかけになります。より多くの国民が問題について知れば、より良い援助方法が見つかるきっかけになるのではないのでしょうか。

感じたこと、考えたこと

自分たちの利益を考えて支援していることが多いのではと感じた。アジアを発展させることはもちろん大切だが、特に所得が低く、初等教育すらもない国に優先的に支援するべきだ。ロールプレイの活動を通じて、他国に対して良いと思っていた支援が無駄だったり、必要な

かったりしていることが分かり驚いた。

学生がもっと世界の問題に目を向けて、大人たちに強いられることなく、自分たちの意思で行動できるようになるといい。

この授業を通じて学ぶことは本当に大切なことだし、知っていなければならないことだらけだと思う。

もっとほかのクラスや学校、様々な世代が受けるべきだと思います。

私たちの国で普通に食べている物や使っている物が、学校にいけない子供たちや低賃金で働かされている人が作っているかもしれない。どこの学校でも世界の問題について考える授業や講演会を行ってほしい。

広めたり援助したりする前にまずは正しい情報を知って行動することが大切だとわかった。話を聞くことによって知ることは可能だが、体験した人たちの話を聞くほどの衝撃は感じられない。体験者から話を聞く機会が大切だ。

日本では充実した教育が受けられるが、他国では学校に行けない人や退学せざるを得ない人たちがいて、安定した職業に就くことができない悪環境がある。この事実をもっと広めて多くの人に興味を持ってもらいたい。

直接支援よりも技術提供をして、これからも続けていける支援をしていくことが大切であることを学びました。

国によって「当たり前」が違うことが悲しいと思いました。学校に行くことが「当たり前」に、どこの国でもなるといいと感じました。

自分たちの周りにある日常は実はすごく恵まれたものであることを改めて実感した。普段面倒くさがっていることでも感謝して大切にしようと思う。

国の違いだけでは済まされない問題をこれからは国だけではなく私たち一人ひとりが考える必要があると感じました。